

# 地歴公民 (日史・世史・地理・政経・倫理) 北海道大学 総合入試【文系】、学部入試【文】

## <全体分析>

試験時間 90分

### 解答形式

客観式 21 個、記述式 15 個、論述式 15 題 (1 行×2、2 行×5、3 行×8 計 36 行)、描図 1 題

### 分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・**やや増加**・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・**やや難化**・難化)

昨年度に比べ、客観式が 9 個減少したものの、記述式が 5 個増加し、論述式も 3 題 (9 行) 増加したうえ、描図問題が 1 題加わったため、全体としての分量は昨年よりやや増加した。全体的な難易度もやや難化したため、受験生は時間配分に苦労したと思われる。

### 出題の特徴や昨年との変更点

地形図に関する問題や統計や地図を用いた出題は例年通りであり、2021 年度の入試改革から登場した「正しい (または適当でない) ものをすべて選べ」という多答の問題が、今年も多く見られた。また、図を描かせる問題が 12 年ぶり (2012 年以来) に出題された。

### その他トピックス

2024 年度北大入試オープンの **3** で、インドを取り上げ「ICT 産業が盛んになった理由」などを問うた。

## <大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
<b>1</b>	描図 客観式 記述式 論述式	地図と土地利用	問 1 の描図は、等高線を丁寧に読み取り、尾根と谷を明確に描いていこう。問 2 の埋立と干拓の違いには、地図の下にある凡例から土地利用にも触れたい。問 3 の C の判定(盛土地・埋立地)は困難である。	やや難
<b>2</b>	客観式 記述式 論述式	人種・民族・宗教	問 2 の C~E、問 7 の地域名、問 8 の言語の判定は難しい。問 3 のアニミズムや問 5 の公民権運動の論述問題も、あまり取り上げられない内容で難しい。	やや難
<b>3</b>	客観式 記述式 論述式	南アジア	問 4・問 7 の短答問題はいずれも容易であり、全問正解したい。また、問 2・問 3・問 5・問 6 の論述問題も頻出の内容であり、満点を目指したい。	やや易
<b>4</b>	客観式 記述式 論述式	北アフリカ	問 5 の北部アフリカ諸国の首都名や問 6 の農産物は受験生の学習が及ばないものが多く、このあたりで差がついたと思われる。	標準

※難易度は 5 段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

## <学習対策>

- 客観式や記述式がどれだけできるかが得点差のカギになると思われるので、教科書や共通テスト(センター試験)の過去問などで基本的知識を確実に習得しておくこと。
- 50~100 字程度の論述が多く出題されるので、過去問などを利用して各テーマをコンパクトにまとめられる論述力を身につけておこう。
- 統計や地名に関する問題が頻出しており、細かな統計や地名を押さえるとともに、統計の持つ意味を理解する学習が求められる。
- 地図を利用した問題が多く、図を描かせる問題もみられるので、白地図を使った学習を行うとよい。また、地形図や地図に関する出題も多いので、実際に地形図や地図を利用して慣れるようにしよう。